

経済動向調査のまとめ

平成29年12月値

平成30年2月27日 発行

この景気動向調査のまとめは、下記の実施機関の調査資料をまとめたものです。

会員事業所の経営計画等の判断にご活用いただければと思います。

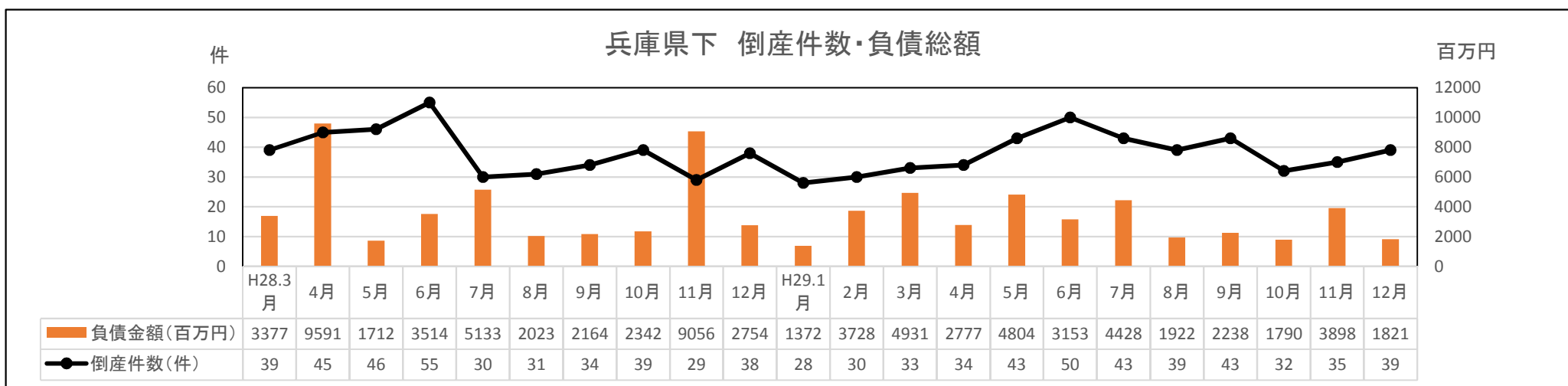
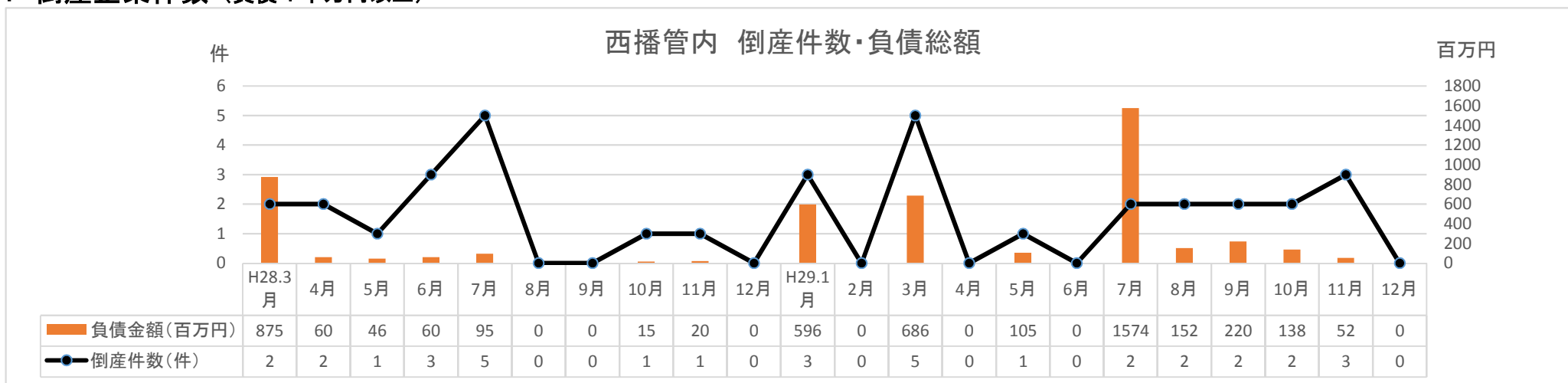
※業種別等の詳細資料をご希望の方は、商工会事務局(TEL 0790-82-2218)へご連絡ください。

経済動向調査 参照元

調査資料	実施機関	調査対象	数値時期
地域経済景況調査	兵庫県西播磨県民局	西播磨県民局管内	H29.12月
全国中小企業動向調査(小企業データ)	日本政策金融公庫	小企業(6,458社)	H29.10-12月実績
小規模企業景気動向調査	全国商工会連合会	全国300商工会の調査	H29.12月
にしん景況レポート	西兵庫信用金庫	西播磨地域 101社	H29.10-12月実績

佐用町商工会

1. 倒産企業件数（負債1千万円以上）



【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

西播磨管内

西播磨の9月の企業倒産件数は2件（前年同月0件）となっている。

西播磨の9月の負債総額は2億20百万円となっている。（前年同月21億64百万円）

兵庫県下

県下の9月の企業倒産件数は43件（前年同月34件）となっている。

なお、県下の9月の負債総額は、22億38百万円（対前年同月比3.4%増）となっている。（前年同月21億64百万円）

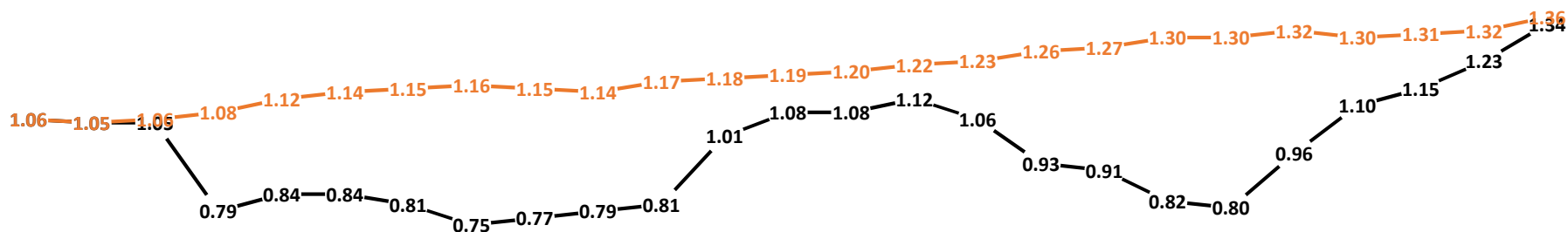
2. 西播磨の有効求人倍率の推移

西播磨の9月の有効求職者数は、3,666人（前月から331人減）で対前年同月比23.2%の減となっている。

有効求人数は4,032人（前月から184人増）で対前年同月比7.1%増となっている。

また、有効求人倍率は1.10倍で対前年同月比0.31ポイント上昇している。

なお、兵庫県全体の有効求人倍率（季調値）は1.30倍で対前年同月比で0.16ポイント上昇した。



	H27.12	H28.01	H28.02	H28.03	H28.04	H28.05	H28.06	H28.07	H28.08	H28.09	H28.10	H28.11	H28.12	H29.01	H29.02	H29.03	H29.04	H29.05	H29.06	H29.07	H29.08	H29.09	H29.10	H29.11	H29.12
龍野職安	1.06	1.05	1.05	0.79	0.84	0.84	0.81	0.75	0.77	0.79	0.81	1.01	1.08	1.08	1.12	1.06	0.93	0.91	0.82	0.80	0.96	1.10	1.15	1.23	1.34
兵庫県	1.06	1.05	1.06	1.08	1.12	1.14	1.15	1.16	1.15	1.14	1.17	1.18	1.19	1.20	1.22	1.23	1.26	1.27	1.30	1.30	1.32	1.30	1.31	1.32	1.36

— 龍野職安 — 兵庫県

【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

有効求人倍率とは、「求人数（仕事の数）」を「仕事をしたい人の数」で割ったものです。

これは、世の中にどれくらい求人（仕事）があって、それにどれくらい応募（仕事をしたい人）があるかを表しています。

たとえば、仕事の案件が100件あり、そこに200人応募していたら、有効求人倍率は「0.5」になります。

逆に、求人募集が200件あって、それに応募する人が100人しかない場合、有効求人倍率は「2」になります。

D I 値とは-----

例えば、売上額D I の場合、経営者等に売上状況を、(1) 良い(2) やや良い(3) 普通(4) やや悪い(5) 悪いの5段階により調査します。

その回答が、(1) 良い 10% (2) やや良い 15% (3) 普通 35% (4) やや悪い 15% (5) 悪い 25%だったとすると

$[(1) 10\% + (2) 15\%] - [(4) 15\% + (5) 25\%] = [25\%] - [40\%] = \Delta 15\%$ --- DI値

DI値 $\Delta 15\%$ とは、「良い」という回答より「悪い」と回答した経営者が15%多いことになる。

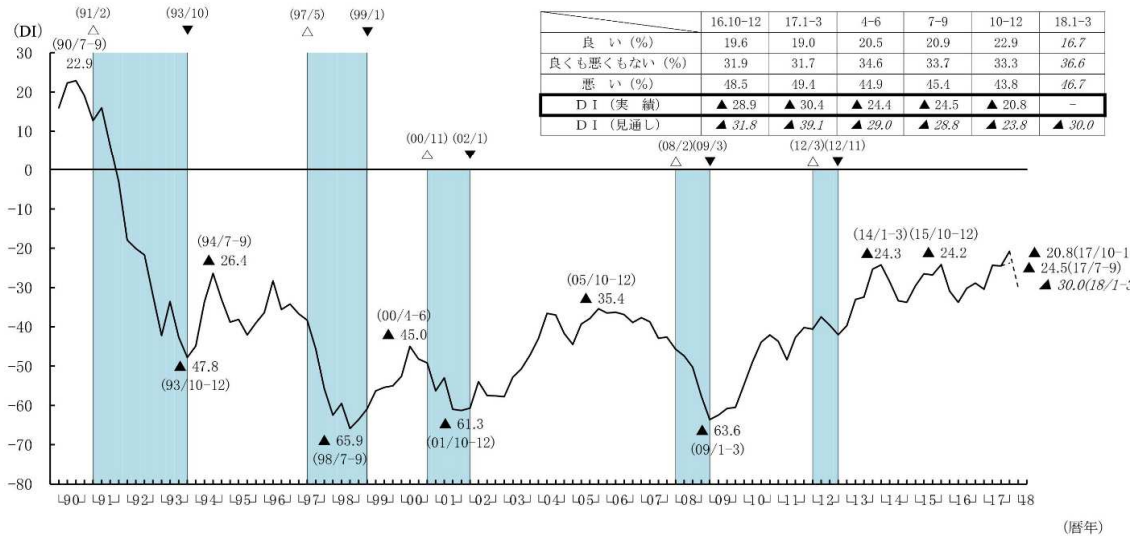
ただ、DI値は結果数値なので、「良い」「悪い」水準比較も必要である。

3. 業況

1 業況判断

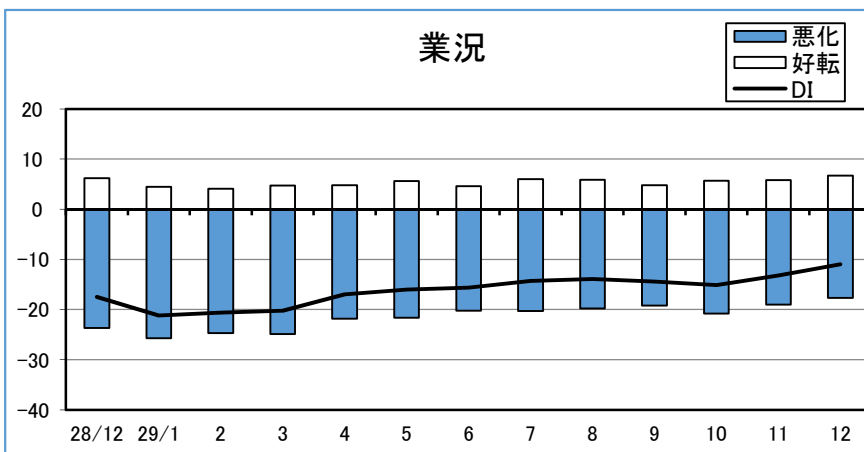
- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前回調査（2017年7-9月期）からマイナス幅が3.7ポイント縮小し、▲20.8となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大し、▲30.0となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



【資料】 ㈱日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

業況



年/月	好転	悪化	DI
28/12	6.2	-23.7	-17.5
29/1	4.5	-25.7	-21.2
2	4.1	-24.7	-20.6
3	4.7	-24.9	-20.2
4	4.8	-21.8	-17.0
5	5.6	-21.6	-16.0
6	4.6	-20.2	-15.6
7	6.0	-20.3	-14.3
8	5.9	-19.8	-13.9
9	4.8	-19.2	-14.4
10	5.7	-20.8	-15.1
11	5.8	-19.0	-13.2
12	6.7	-17.7	-11.0

建設業・サービス業が景況感を引き上げるも、小売業の力強さが欠ける小規模企業景況

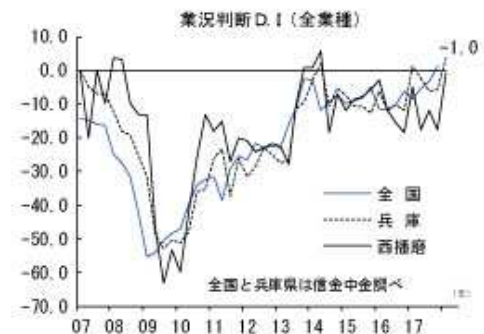
12月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）が小幅に改善した。

また、売上額DIも小幅改善。採算DI、資金繰りDIはわずかに改善した。機械・金属を中心とした製造業と建設業が引き続き堅調に推移していることに加え、クリスマスや正月などの年末年始の需要増で小売業、一

【資料】 全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

一景況感は持ち直すー

17年10～12月期（今期）の業況判断D. I. は△1.0と、前期比16.8ポイント改善した。前期に比べ業況が「良い」と回答した企業の割合が僅かに増加し、業況が「悪い」と回答した企業の割合が大幅に減少したことにより、前期比16.8ポイントの改善となった。



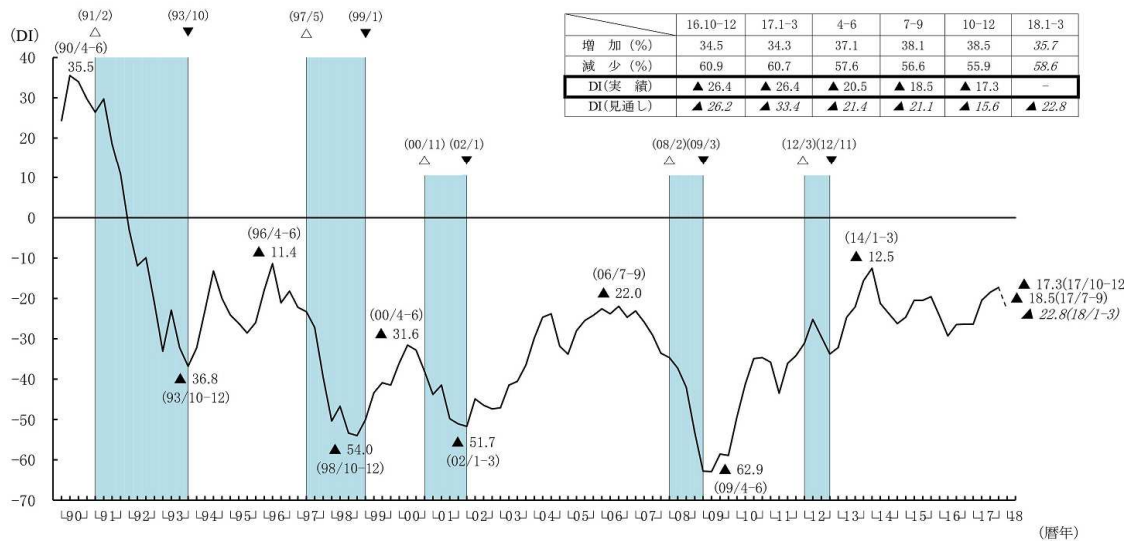
【資料】 西兵庫信用金庫 にしん景況りレポート

4. 売上

2 売上

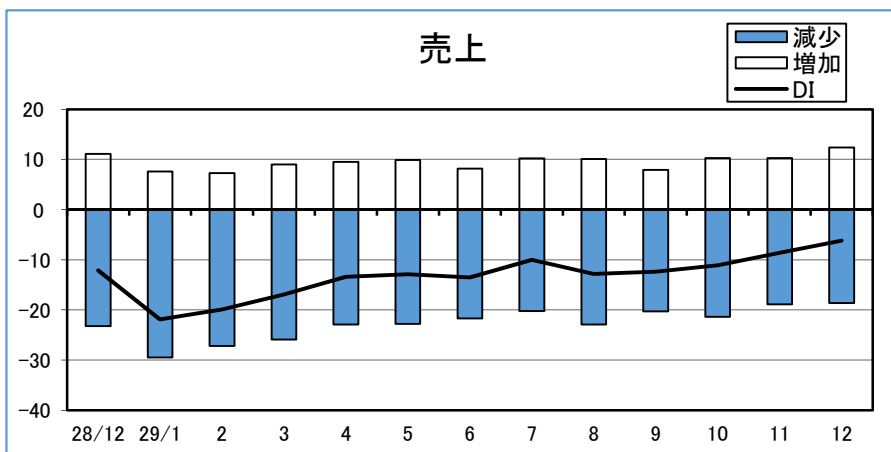
- 今期の売上DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が1.2ポイント縮小し、▲17.3となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-4 売上DIの推移 (全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

売上



年/月	増加	減少	DI
28/12	11.1	-23.2	-12.1
29/1	7.6	-29.5	-21.9
2	7.3	-27.2	-19.9
3	9.0	-25.9	-16.9
4	9.5	-22.9	-13.4
5	9.9	-22.8	-12.9
6	8.2	-21.7	-13.5
7	10.2	-20.2	-10.0
8	10.1	-22.9	-12.8
9	7.9	-20.3	-12.4
10	10.3	-21.4	-11.1
11	10.3	-18.9	-8.6
12	12.4	-18.6	-6.2

売上額DIも小幅改善。
DI値をみると小売業が出遅れており、力強さに欠けている。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

—販売価格、仕入価格ともに上昇傾向を強める—

17年10~12月期(今期)の販売価格判断D.I.は、前期に比べ価格「下降」と回答した企業の割合が僅かな減少に留まり、それ以上に価格「上昇」と回答した企業の割合が増加したことにより、前期比3.9ポイント改善し7.9となった。

グラフ無し

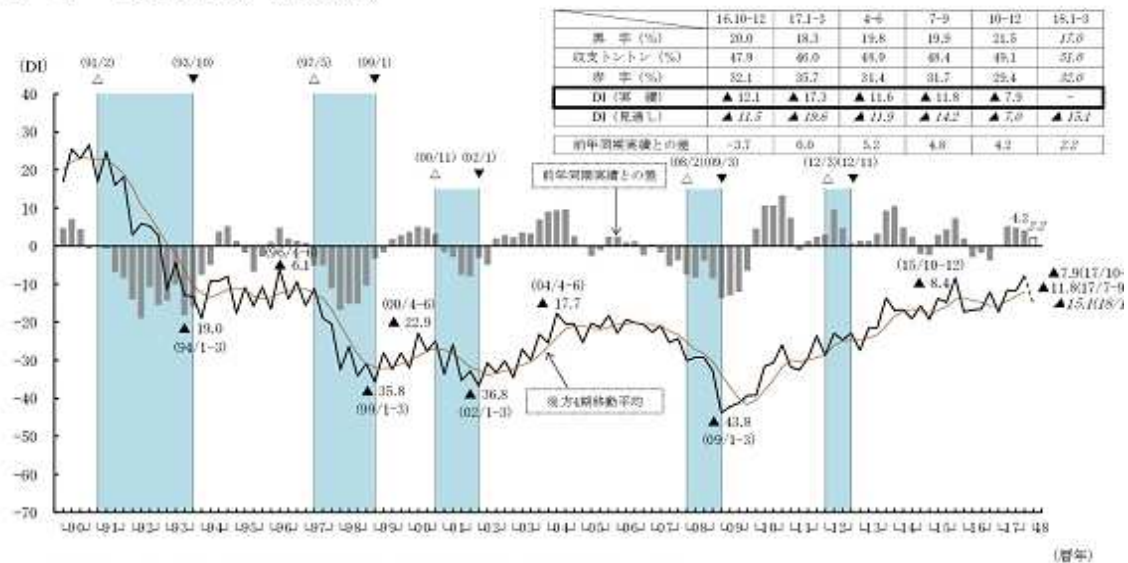
【資料】西兵庫信用金庫 にししん景況レポート

5. 採算

3 採算

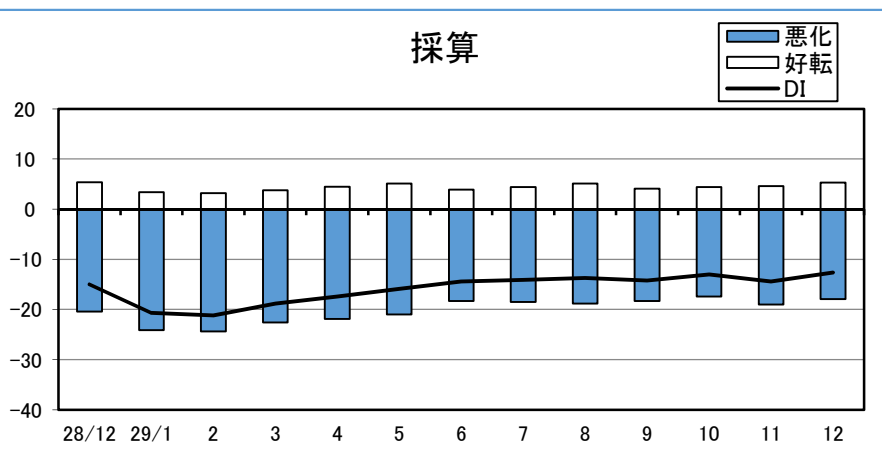
- 今期の採算DI(全業種計)は、前回調査からマイナス幅が3.9ポイント縮小し、▲7.9となった。
- 来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-5 採算DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

採算



年/月	好転	悪化	DI
28/12	5.4	-20.4	-15.0
29/1	3.4	-24.1	-20.7
2	3.2	-24.4	-21.2
3	3.8	-22.6	-18.8
4	4.5	-21.9	-17.4
5	5.1	-21.0	-15.9
6	3.9	-18.3	-14.4
7	4.4	-18.5	-14.1
8	5.1	-18.8	-13.7
9	4.1	-18.3	-14.2
10	4.4	-17.4	-13.0
11	4.6	-19.0	-14.4
12	5.3	-17.9	-12.6

採算DIは、わずかに改善した。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

収益面では、前年同期比の売上額判断D.I.が3.0と前期比2.0ポイント改善、同収益判断D.I.は3.0と前期比1.0ポイント改善した。

グラフ無し

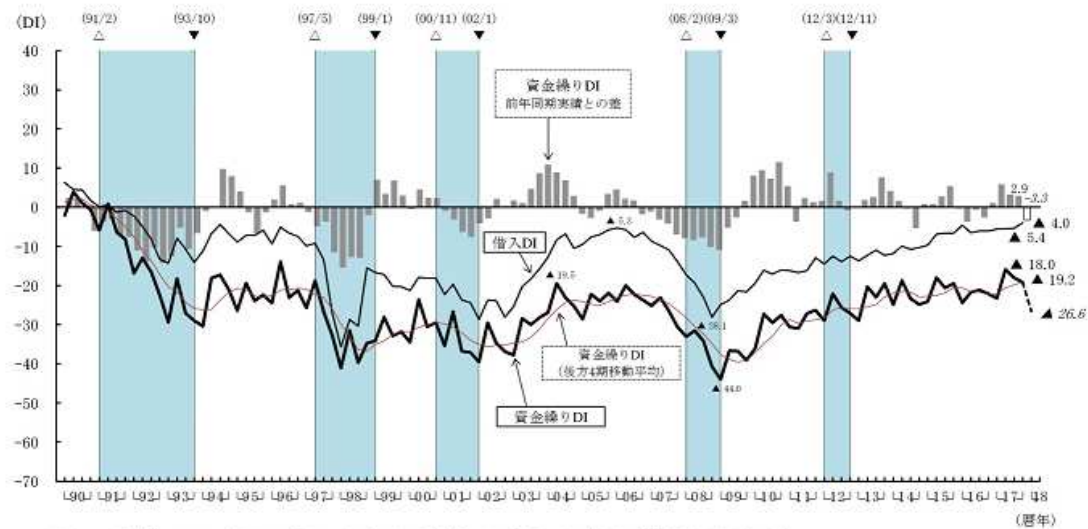
【資料】西兵庫信用金庫 にししん景況レポート

6. 資金繰り

4 資金繰り、借入

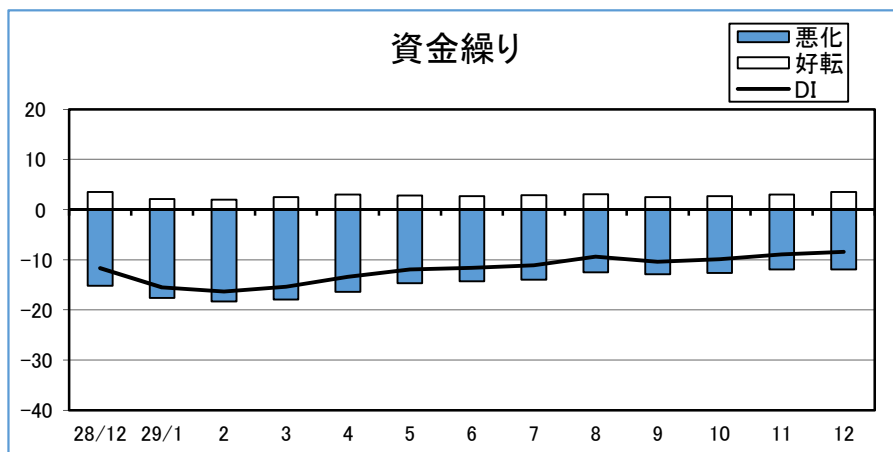
- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が1.2ポイント拡大し、▲19.2となった。来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前回調査からマイナス幅が1.4ポイント縮小し、▲4.0となった。

図-6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

資金繰り



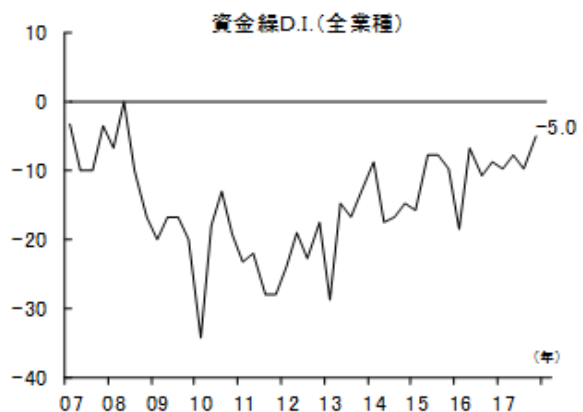
年/月	好転	悪化	DI
28/12	3.5	-15.2	-11.7
29/1	2.1	-17.6	-15.5
2	2.0	-18.3	-16.3
3	2.5	-17.9	-15.4
4	3.0	-16.4	-13.4
5	2.8	-14.7	-11.9
6	2.7	-14.3	-11.6
7	2.9	-14.0	-11.1
8	3.1	-12.5	-9.4
9	2.5	-12.9	-10.4
10	2.7	-12.6	-9.9
11	3.0	-11.9	-8.9
12	3.5	-11.9	-8.4

資金繰りDIはわずかに改善した。
小売業のDIは、今回の調査で唯一小幅に悪化している。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

—資金繰り判断D.I.は、改善—

17年10~12月期（今期）の資金繰り判断D.I.は△5.0と、前期比4.9ポイント改善した。業種別では、製造業が前期比15.6ポイント、卸売業が同8.2ポイント、小売業が同5.9ポイント、建設業が同0.9ポイントそれぞれ改善し、サービス業は同10.6ポイント低下した。不動産業は前期比横ばいとなっている。



【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート